

【WINK2 4K対応のデジタルシネマのポストプロワークをワンストップサービス開始】

フィルムカメラが主流だった映画製作業界も、デジタル化が進んできており、大判センサーを搭載したレンズ交換が可能なデジタルシネマカメラが主流となりつつあります。 デジタル撮影の映画/CM/PV 製作は、VFX や CG などの撮影素材の後加工がフィルムより容易であり、ポストプロダクションを利用することが必然的な流れになっています。

TV や CM、MV でもデジタルシネマカメラの導入がここ数年進んできており、優れたレンズ構成と大判の持ち味を生かした作品作り、小型軽量、コスト削減で log 管理を行うことで、フィルムに近いダイナミックレンジと多様な交換レンズの選択により、製作会社でのデジタルシネマ製作の方向性が進んでいます。

WINK2 ではデジタルシネマ製作事業を新たに開始することにより、音楽から編集、DCP、既存編集室の活性化も考えられ、撮影後のポストプロ作業がワンストップで行える事で製作サイドとしては、バジェットの透明化、短納期化が進み結果作品クオリティーを上げることもできます。

新設! 4K 対応 Pablo ルーム 西口

新設! 4K 対応 Resolve カラーグレーディングルーム 代々木公園

新設! DCP クリエーションラボ 代々木公園

都内 4 カ所に展開するポストプロダクションウイックツアーでは、映画/テレビ/CM/PV/次世代テレビ放送迄多くのタレントエンジニアと最先端のスタジオで皆様の作品作りをお手伝いして行きます。